

取扱説明書及び部品表

 **Takakita**

マニアスプレッド

DL7000G



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書は、**マニアスプレッタ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げ販売店または当社にご注文ください。
(部品コードは裏表紙に記載してあります。)
- 本書は**注意**として知っておくと得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

- | | |
|------|--|
| ⚠ 危険 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。 |
| ⚠ 警告 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠ 注意 | その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。 |

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	8
各部の名称とはたらき	9
トラクタへの装着	11
1. 装着のしかた	11
2. ユニバーサルジョイントの取付	11
3. 油圧ホースの接続	12
4. コントロールボックスの接続	12
5. 灯火装置の接続	13
運転に必要な装置の取扱い	14
1. スタンドの取扱い	14
2. マニアパンの取扱い	14
3. 散布量（コンベア送り速度）の調整	15
4. オートストップ機能について	16
作業方法	17
1. 作業手順と要点	17
2. 移動するときは	18
3. 堆肥の積込み方法	18
4. 散布できない物は	19
5. コンベア送り速度の設定	19
6. 散布量とトラクタ速度について	19
7. 散布方法について	20
8. スラリー（ヘドロ）状堆肥の散布	21
9. 傾斜地での作業	21
作業前の点検について	22
1. 点検一覧表	22
簡単な手入れと処置	23
1. コンベアチェーンの張り調整	23
2. サブピータ・メインピータ 駆動チェーンの張り調整	23
3. シェアボルトの交換	24
4. 洗浄について	24
5. タイヤの点検、修理	24
6. 各部の注油、グリスアップ	25
7. 長期格納時の手入れ	28
不調診断	29
付表	30
1. 主要緒元	30
2. 主な消耗部品	30
3. 給油	30



安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある**▲**表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

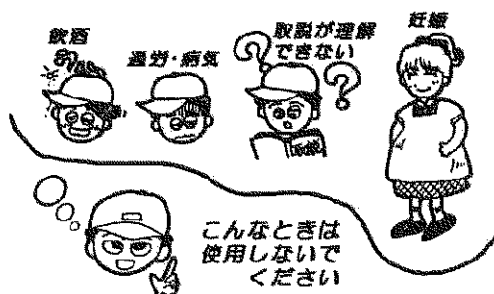
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

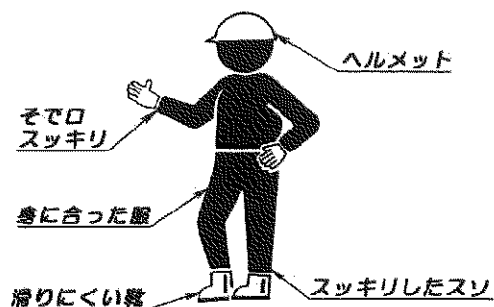
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。
- 16歳未満の人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



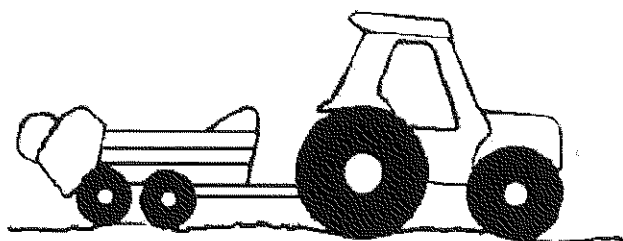
(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適用トラクタ

型 式	適応トラクタ kw(PS)
DL7000G	36.8～73.6 (50～100)

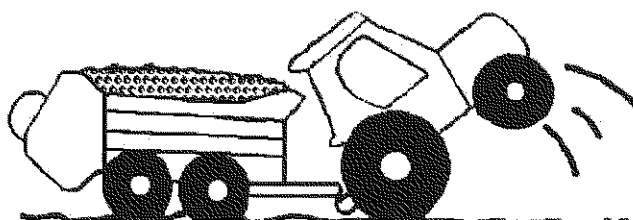
- ドローバ : スイングドローバ
- PTO 回転速度 : 540min⁻¹(rpm)
- 油圧取り出し : 複動2系統
(オプション部品使用の場合、
複動1系統)



(4) 装着時の前後バランス確認

ドローバに取付けて堆肥などを積載したときのヒッチ荷重に、トラクタ質量を加えた20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。

もし、不足するときはフロントウエイトを取付けて、20%以上を確保する如果不能なければ装着しないでください。





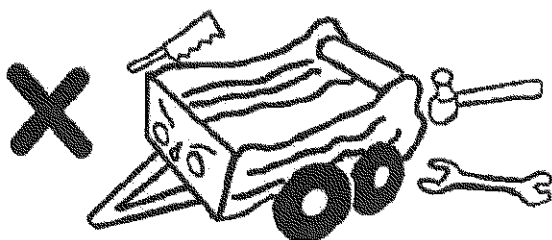
安全に作業するために

(5) バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けないでください。

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。また、改造はしないでください。



(7) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

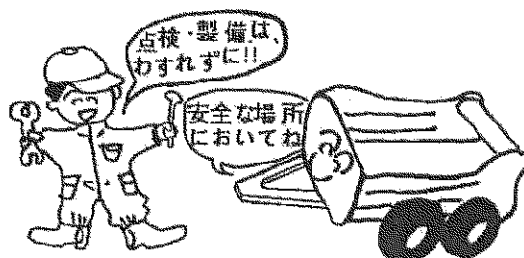


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除するときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でP T Oを切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキ又は車止めをしてから行ってください。



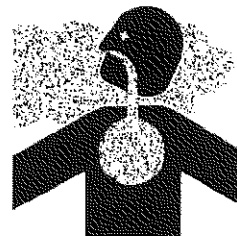
(4) 機械を常にきれいに

本機の性能を長期間維持するためにも、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでトラクタのエンジンを始動するときは、エンジンの排気ガスによる中毒のおそれがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所でし、やむをえず屋内で使用する場合には、十分換気を行ってください。



(6) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずエンジンを止めてから行ってください。

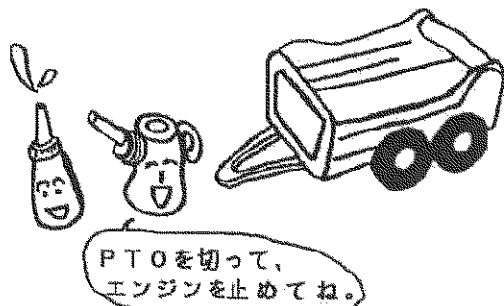
また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



安全に作業するために

(7) 注油・給油をするときは

P T Oを切り、エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。

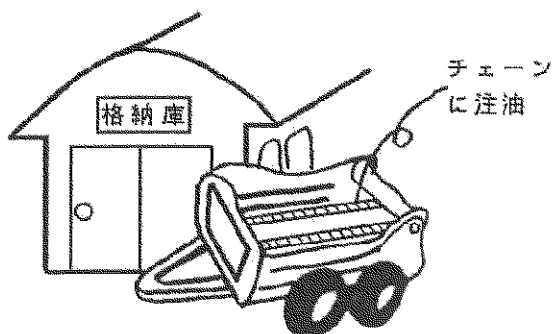


(8) 高圧油に注意してください

- ①高圧油による傷害を防止するために、配管・ホースなどの取外し前には、必ず圧力を抜いてください。
- ②圧力をかける前に配管・ホースなどは、正しく確実に締め付けてください。
- ③非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で油漏れを探すことはやめてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。
- ④漏れによるヤケドやケガを負った場合は、速やかに医者診療を受けてください。

(9) 長期格納するときは

機械をきれいにし、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に車止めをして保管してください。

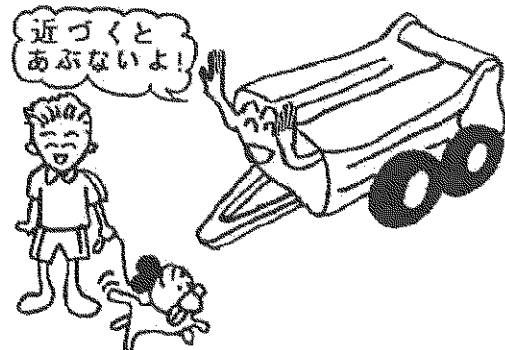


3 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

また、ピータの回転をするときは付近に人や器物がないことを確認してから行ってください。



(2) エンジンを始動するときは

クラッチを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。周囲の安全を確かめ、急発進をしないよう徐々に発進してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(3) 2人以上で作業するときは

2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。

(4) 回転中のピータには触れない

回転しているピータに巻き込まれると重傷を負うことがあります。手や足で絶対に触れないようにしてください。

(5) シェアボルトの交換や巻き付き堆肥などを取り除くときは

P T Oのクラッチを切り、エンジンを必ず止めてから行ってください。



安全に作業するために

(6) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードを出しすぎたり、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力低くして作業を行ってください。

(7) 傾斜地で作業するときは次のことを必ず守ってください

①斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の作業は、必ず直角方向に走行してください。

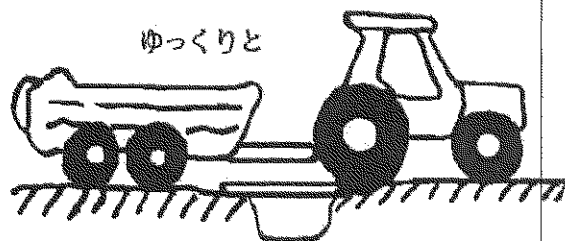
②傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

(8) キャビンなしのトラクタに装着して作業する場合

堆肥が前方に飛散し、目に入るおそれがありますので必ず保護メガネを着用して作業してください。

(9) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

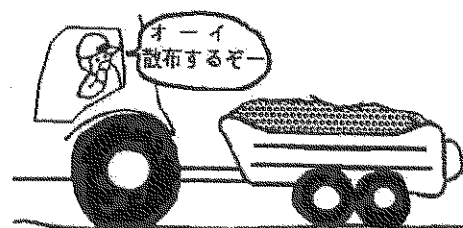
スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



(10) 作業途中で運転席より離れるときは機械を平坦な場所に降ろし、PTOを切り、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。また、本機に車止めをしてください。

(11) 堆肥を散布するときは

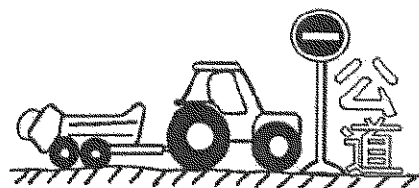
堆肥散布を始めるときは、後方に人や障害物のないことを十分確認し、散布距離を考慮して散布してください。



4. 道路走行・輸送するときは

(1) トラクタに装着しての公道走行禁止

トラクタに本機械を装着して公道を走行すると運送車両法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。



(2) トラックなどへの積込み、積降しは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ車止めをしてください。

積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。



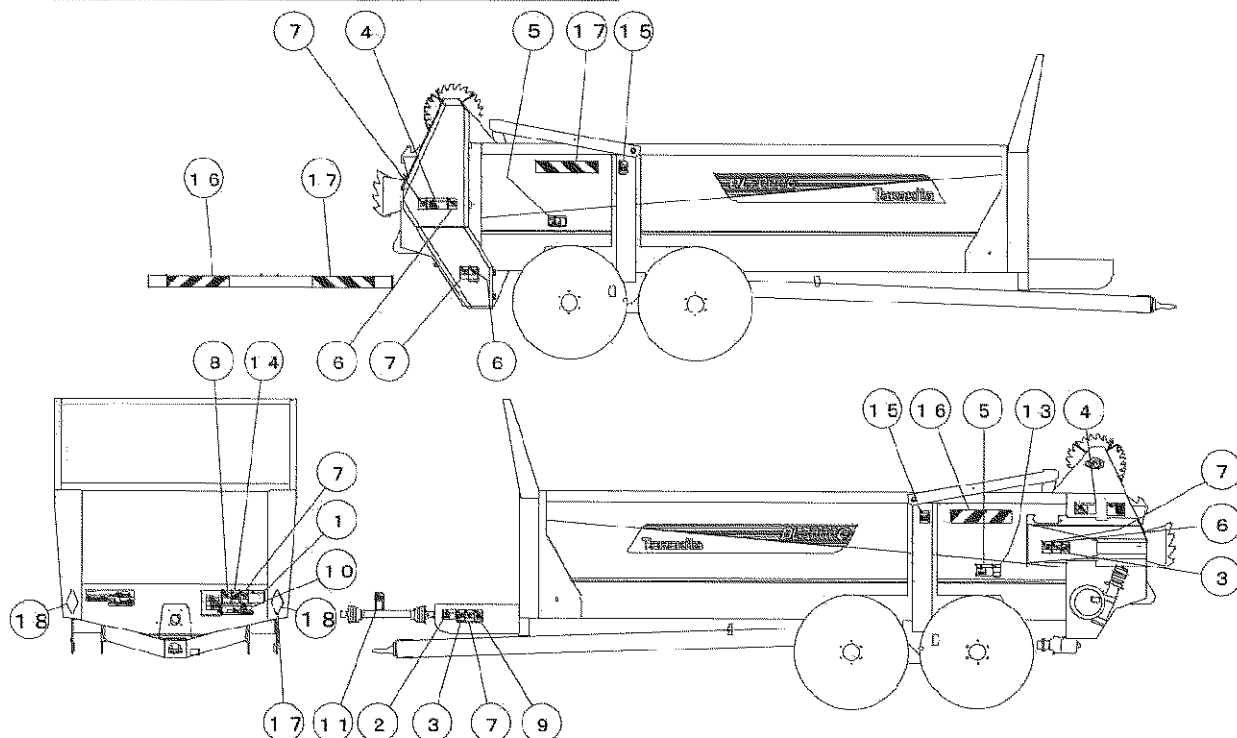
以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で  印を付けて安全上の注意事項を表記しております。



安全に作業するために

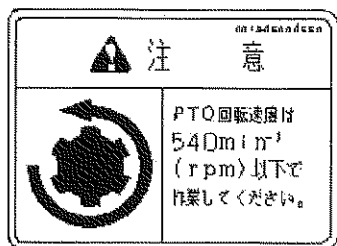
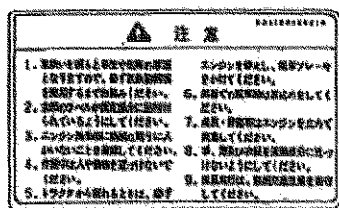
5. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 00120-6000-210

②部品コード 00130-6000-960

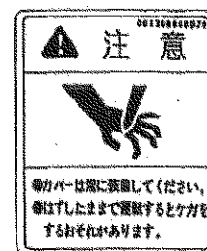
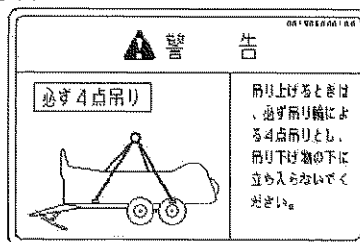
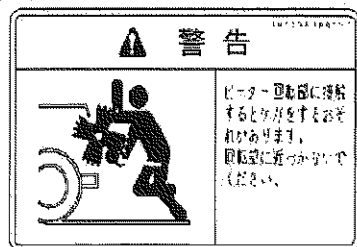
③部品コード 00130-6000-190



④部品コード 00120-6000-250

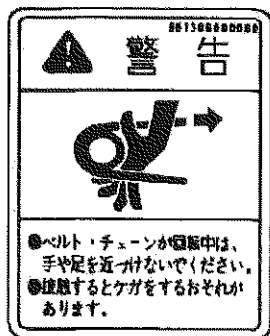
⑤部品コード 00130-6000-100

⑥部品コード 00130-6000-070

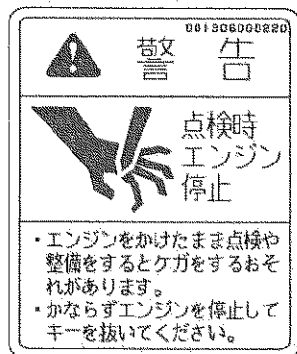


安全に作業するために

⑦部品コード 00130-6000-080



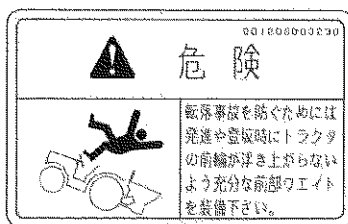
⑧部品コード 00130-6000-220



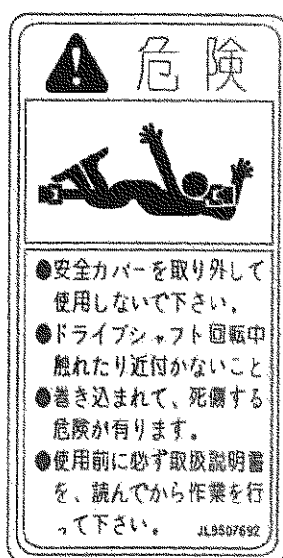
⑨部品コード 00130-6000-760 (DL7000G 専用)



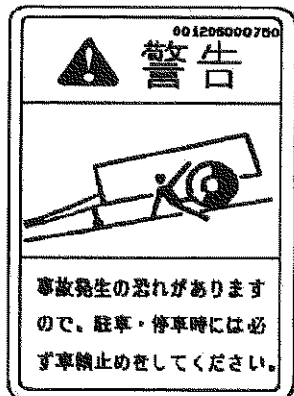
⑩部品コード 00120-6000-230



⑪部品コード 00130-6950-010



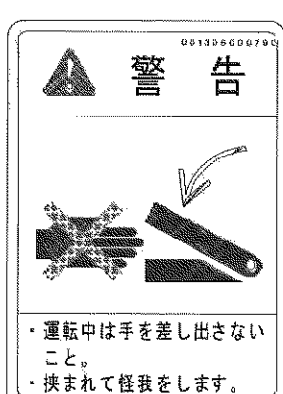
⑬部品コード 00120-6000-750



⑭部品コード 00130-6000-210



⑮部品コード 00130-6000-790





安全に作業するために

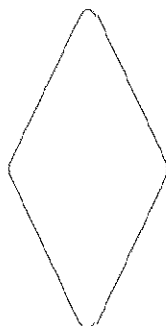
⑩部品コード 00130-6000-370



⑪部品コード 00130-6000-380



⑫部品コード 00130-6000-290



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。



本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、堆肥散布にご使用ください。

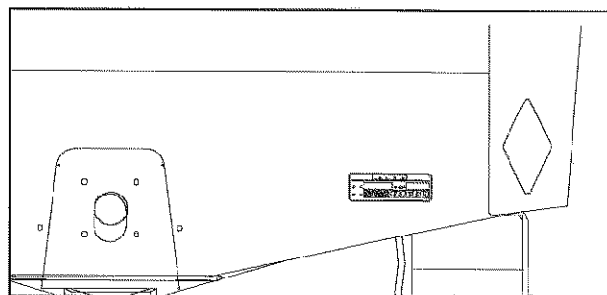
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

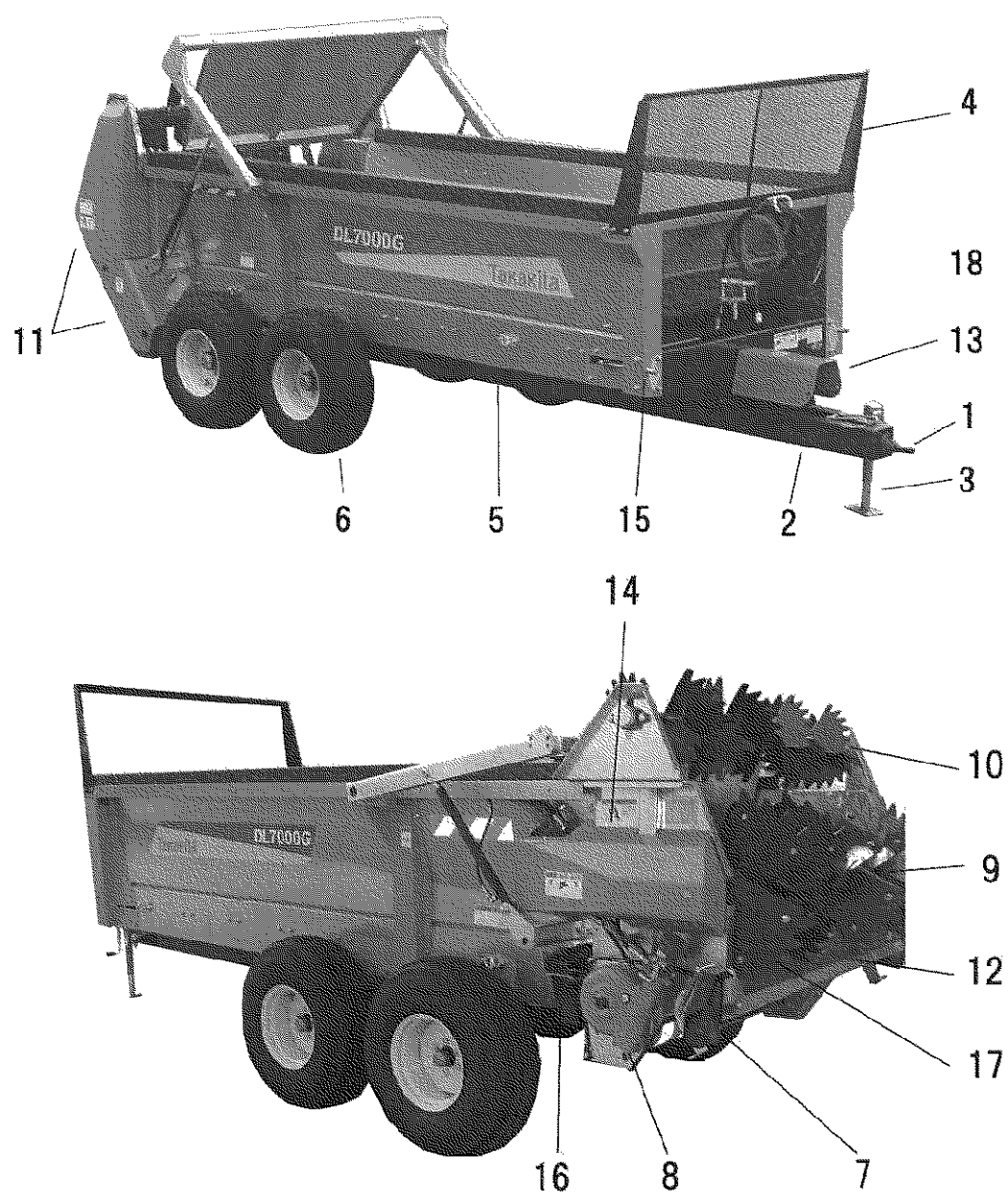
- 品名と型式
- 機体 No. (SER-NO.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	マニアスプレッダ		
型 式			
機 体 No. (SER-NO.)			
購 入 年 月 日	年	月	日
販 売 店 名	TEL : ()		

各部の名称とはたらき



番号	名 称	は た ら き
1	けん引かん	トラクタと連結する
2	フレーム	全体の荷重を支える
3	スタンド	トラクタの装脱着時及び保管時に使用する
4	ストンガード	トラクタへの石、堆肥の飛散保護をする
5	左右側板	腐食に強い亜鉛メッキ側板

各部の名称とはたらき

番号	名 称	は た ら き
6	タイヤ	低圧、広幅タイヤでほ場を傷めません
7	ミッション	トラクタの動力をピータへ伝達する
8	コンベア駆動ミッション	コンベア駆動の変速ミッション
9	メインピータ	羽根の回転で堆肥を細断散布する
10	補助ピータ	上層堆肥をならす
11	チェンカバー	ピータを回転するチェンのカバー
12	マニアパン	詰まった異物の清掃、除去を行うときに開く
13	ジョイントカバー	入力軸の危険防止カバー
14	オートカバー	床コンベアの送り変速を指定する
15	テンションボルト	コンベアの張り調整を行う
16	車輪止め	駐車時のブレーキ
17	コンベア	堆肥を移送する

トラクタへの装着



警告

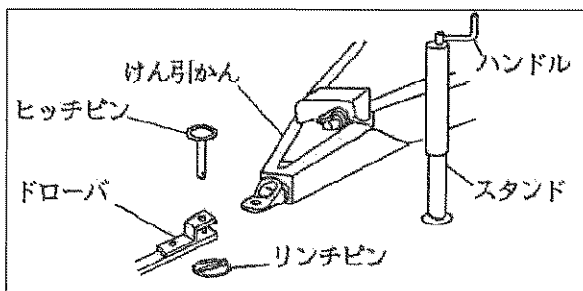
- トラクタへの本機装着は、平坦で安定した場所で行ってください。
- ドローバへの装着はトラクタの動きに十分注意し、2人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントの接続は、必ずトラクタのエンジンを止め、PTO クラッチを切ってから確実に取付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

1 装着のしかた

◆ドローバへの装着

- ①ドローバを一番短い位置にしてください。
- ②本機、けん引かんの取付部を、スタンドのハンドルを操作してトラクタのドローバの高さに合わせ、トラクタを後進し、穴位置を合わせてヒッチピンで確実に装着してください。



注意

- ドローバを最短にして、本機を装着してください。
- ヒッチピン挿入後は必ずリンチピンを入れ、抜け止めしてください。
- ◆スタンドを取外して格納してください。
スタンドを取外し、フレームに格納してください。(スタンド操作のページ参照)



2 ユニバーサルジョイントの取付け

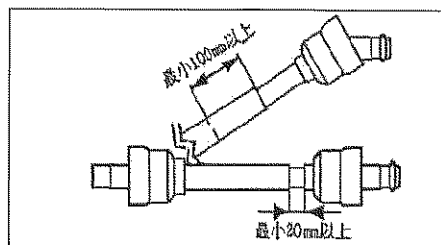
◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタPTO軸に確実に取付けてください。

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは本機が旋回するときに変化します。

先に、ジョイントが長すぎないかを確認してください。長すぎる場合は、下図の寸法が確保できるように切断してください。



注意

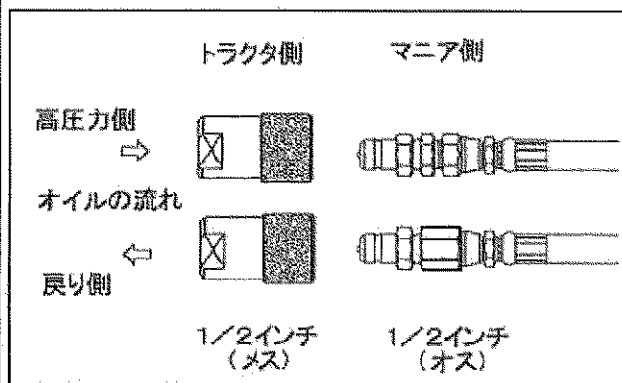
- 作業時のジョイント角度は最大 30 度を超えないように調整をしてください。30 度を超えるとジョイントの破損の原因となります。
- ◆カバー回転止めチェーンで固定を
ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕を付けてしっかりと固定してください。

トラクタへの装着

3. 油圧ホースの接続

◆接続は残圧を抜いてから

- ①トラクタのエンジンを停止し、トラクタの油圧操作レバーを押し引きして残圧を抜いてください。
- ②油圧ホース先端についている油圧カップラオスを、下図のようにトラクタの油圧カップラに差し込んでください。
- ③ゲート用油圧（1/4 ホース） カプラ（単動油圧）
をトラクタの油圧カップラに差し込んでください。



注意

トラクタの油圧カップラのメーカー及び規格が異なると、油圧コンベアが正常に作動しません。必ずトラクタに合った油圧カップラを使用してください。

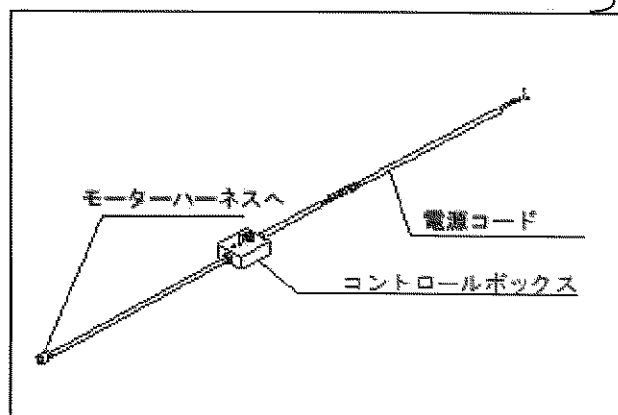
注意

- 油圧ホースを取外す場合は、トラクタの油圧レバーを押し引きしてトラクタの残圧を確実に取り除いてください。
- 油圧ホースをトラクタから外したときは、必ず付属のダストキャップをカップラに差し込み、傷をつけないようにしてください。

4. コントロールボックスの接続

- [1] 電源コードをトラクタのバッテリーと接続し、コントロールボックスとモーターハーネスを接続してください。

白色線はバッテリーの（+）極へ
黒色線はバッテリーの（-）極へ
それぞれ接続してください。



警告

接続の順序は（+）側から行ってください。
また、取り外すときは（-）側から行ってください。
逆にすると火花が飛び危険です。

注意

接続できるバッテリーの電圧は、12Vです。24Vのバッテリーには接続しないでください。誤って接続すると、コントロールボックス及びパルスモーターが破損します。

- [2] コントロールボックスのハーネスを、トラクタの旋回時に対応できるよう十分に余裕をもたせ、回転部等に干渉しないよう、本機に取付けてください。

トラクタへの装着

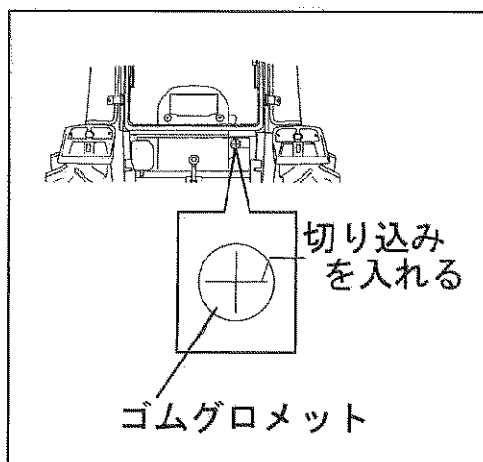
注意

使用前に各部の取付けに誤りがないか確認してください。

ボルト、ナット等が確実に締め付けられているか必ず確認してください。

◆トラクタのハーネスの通しかたについて

キャビン付トラクタでハーネスをキャビン内に引き込む場合、キャビン後部にゴムグロメットがついている場合は、ゴムグロメットにカッターナイフで切り込みを入れ、ハーネスは必ずゴムグロメットを介して通してください。



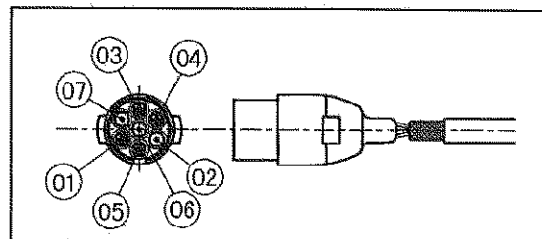
警告

ゴムグロメットを外して通すと、電源コードに傷がつき、思わぬ事故をおこす恐れがあります。

注意

コントロールボックスの、水濡れは故障の原因となります。屋内に保管してください。

5. 灯火装置の接続



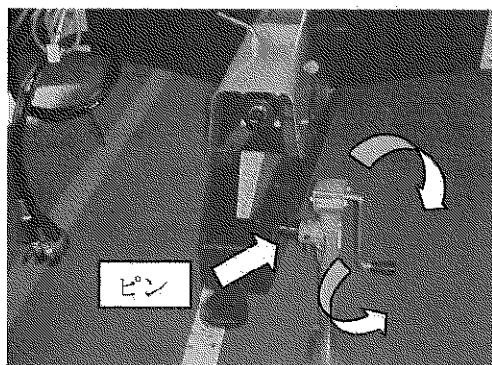
端子No.	配線色	接 続 機 器
①	白色線	アース
②	黒色線	駐車灯
③	黄色線	方向指示灯 (左)
④	赤色線	制動灯
⑤	緑色線	方向指示灯 (右)
⑥	茶色線	尾灯・番号灯・車幅灯
⑦	青色線	後退灯

運転に必要な装置の取扱い

1. スタンドの取扱い

◆スタンドの操作のしかた

- ①スタンドはネジ式スタンドを使用しています。(空車時しか使用できません)
- ②ハンドルを右に回すと伸び、左に回すと縮みます。



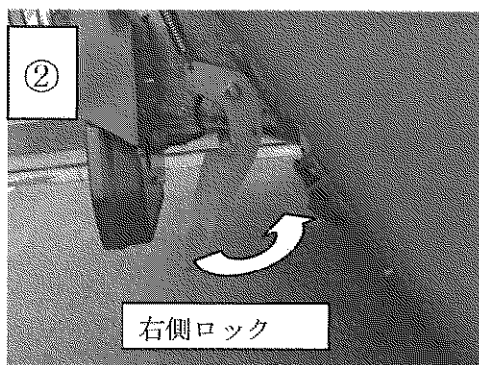
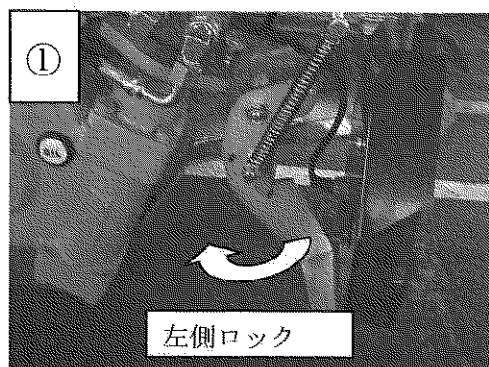
- ③ピンを抜き差しし、フレームに収納してください。



2. マニアパンの取扱い

◆マニアパンを開くときは

- ビータに詰まった堆肥、異物などを取り除くときや、本機を清掃・洗浄するときに開いてください。
- 開く手順は①本機左側のロックを外し、次に②本機右側のロックを外すとマニアパンが開きます。



⚠ 警告

異物等が挟まっている等、マニアパンが勢いよく開く場合があります。周囲に人がいないことや、開いたマニアパンに接触しない位置を確かめた上、マニアパンを開いてください。

マニアパンを閉じる時は左側のロックを外した状態でマニアパンを閉じた後、左側のロックを閉じてください。

運転に必要な装置の取扱い

3 散布量（コンベア送り速度）の調整

◆散布量を調整するときは

コントロールボックスを操作して、希望する散布量の位置に（コンベア）送り速度を合わせてください。

[1] コントロールボックスの設定



電源を「入」を押し、（コンベア）送り速度の「+/-」のボタンを押すと、送り速度調整ができます。[+]を押すと液晶の表示が上がって送り速度が速くなり、また[-]を押すと表示が小さくなり、送り速度が遅くなります。

注意

送り速度は10段階ですが
比例的には速度は上がりません

注意

パルスモータが正常に動いていない場合は、全てのランプが点滅し、異常を知らせます。

[2] 電源 [入]又は [切] を押すと、表示（送り速度）は0に戻ります。

[3] 作業の終了時には、電源 [入/切] を押し、電源を切ってください。

◆コンベア送り速度を記憶するときは

本機のコントロールボックスはコンベア送り速度を2通り、記憶する事が可能です。

[1] 油圧は送らずに、電源[入]を押してください。

[2] 「+/-」のボタンを押して、任意の送り速度を表示させてください。

[3] 設定速度①又は②ボタンを約3秒間押しつづけると、①又は②ランプが点滅し、記憶終了です。

●記憶した送り速度は電源を切っても残ります。

●送り速度は何度も上書き可能です。

[4] 電源[入]状態で設定速度①又は②ボタン押すと、保存した送り速度に変わります。

●①又は②ボタンを押した後でも、送り速度の「+/-」のボタンを押すと、送り速度を変える事ができます。

◆コンベアを早送りするときは

「早送り」ボタンを押している間は、コンベア送り速度が最速（送り10）でコンベアが送られます。

「早送り」ボタンを離すと、元の速度に戻ります。

注意

「早送り」は堆肥散布終盤等、コンベアへの負荷が低い時に使用してください。

運転に必要な装置の取扱い

注意

コントロールボックスの、水濡れは故障の原因となります。屋内に保管してください

堆肥の中に石や木片、氷などの異物が混入していると、コンベア速度が極端に遅くなったり、停止することがあります。

必ず積込み前に異物を取り除いてください。

4 オートストップ機能について

◆オートストップ機能が作用したときは

本機は堆肥内に異物がある等、シアボルトが切断する等してピータが押された場合に、コンベア送りを停止させるオートストップ機能を搭載しています。

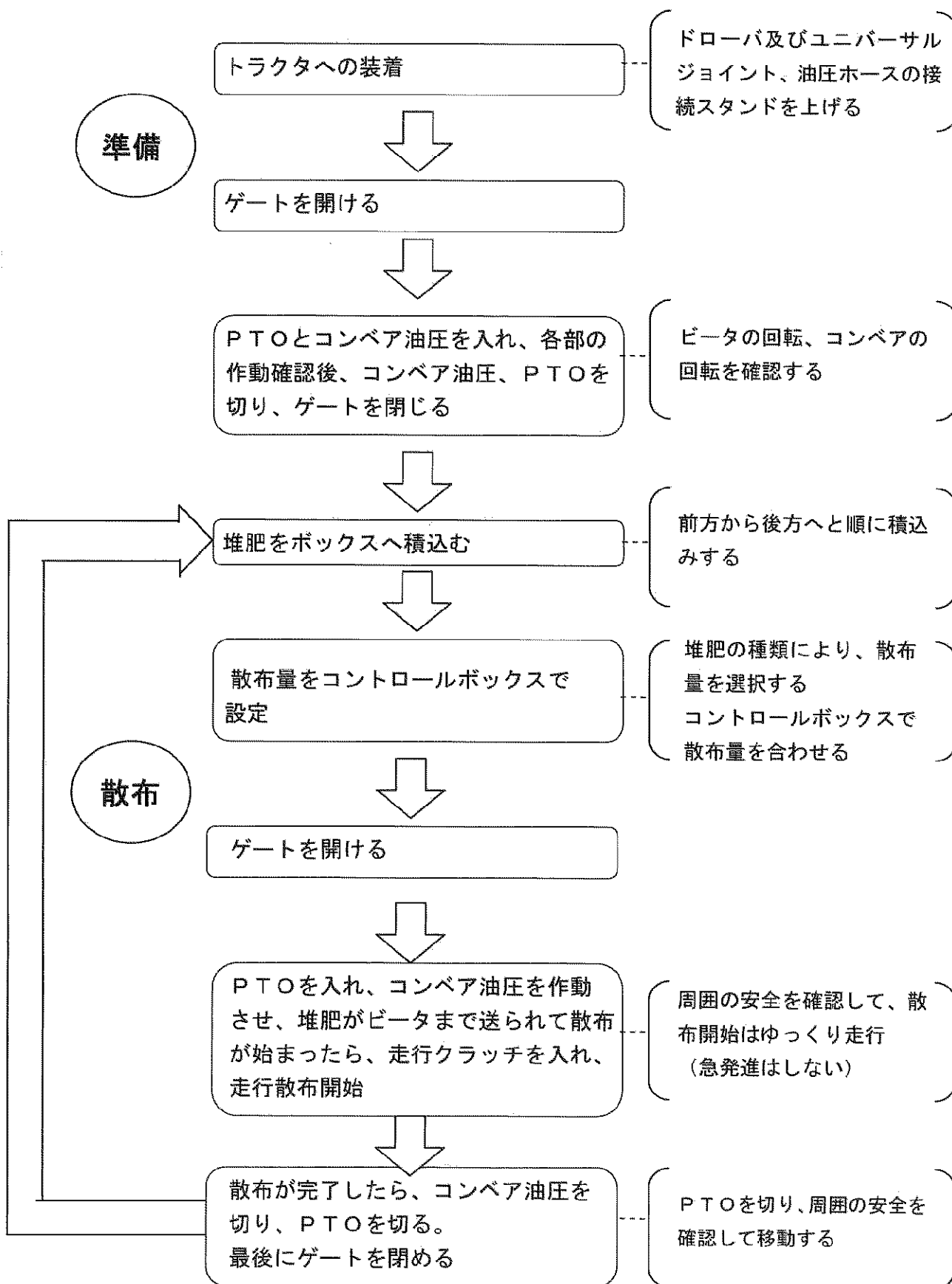
オートストップ機能が作用した時は、マニアパンを開け、荷箱内の異物を取り除いてから、作業を再開してください。

⚠ 警告

異物を取り除く際は、トラクタのエンジンを完全に停止させ、コントロールボックスの電源を切り、安全を確認の上、棒等を使用して異物を取り除いてください。

作業方法

1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するときは

移動するときは、トラクタのブレーキがきく、安全な速度で走行してください。

注意

下り坂を走行する場合は、トラクタのエンジンブレーキを使用してゆっくり走行してください。

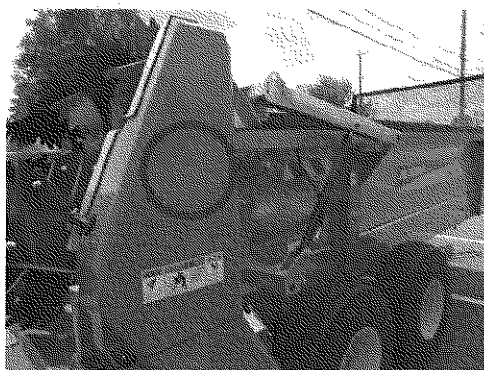
警告

- 本機を装着しての運転は、まわりの条件に適した速度で行ってください。絶対に急発進、急ブレーキ、急ハンドルは行わないでください。
- 旋回するときは、重心の変化や機械の長さ、幅に十分注意してください。

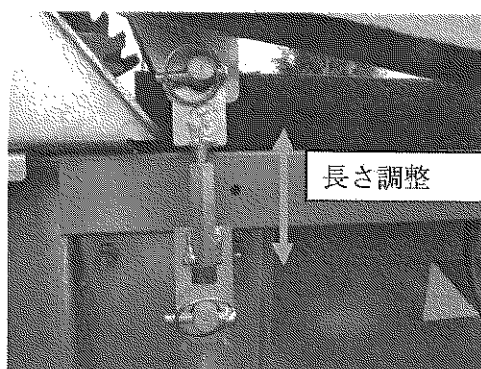
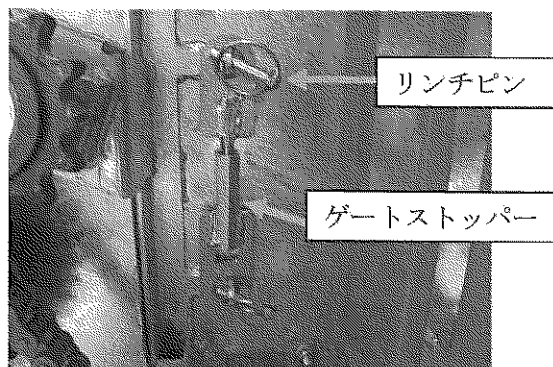
注意

堆肥を積んだ状態で、長距離移動する時は、本機の振動で油圧ゲートが少しずつ開く場合があります。
長距離移動する場合はゲートストッパーを使用してください。

ゲートストッパー収納位置



リンチピンを外し、ゲートのピン間に合わせてストッパー長さを調整し、リンチピンで止めてください。



注意

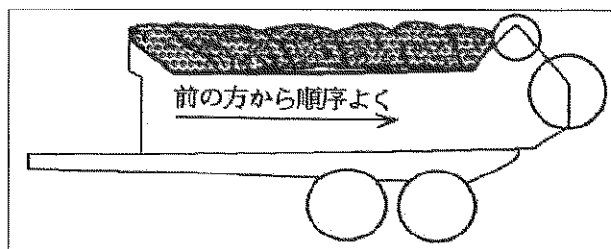
ゲートを開ける時は、ゲートストッパーを外してください。
ゲートストッパーを使用した状態でゲートを開けると、本機が破損する場合があります。

3. 堆肥の積み込み方法

◆前の方から順序よく積み込みしてください。

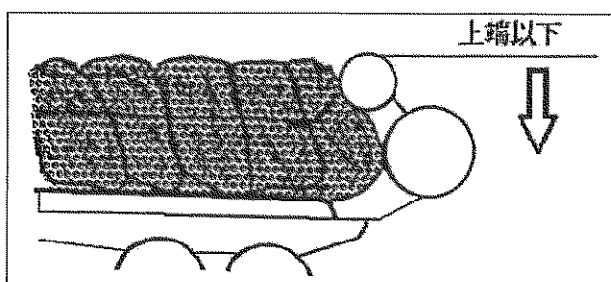
堆肥を積み込むときは、前方から後方へと順序よく積み込むと、散布時に堆肥がほぐれやすくなります。

作業方法



◆ピータの上端まで積込みしてください。

堆肥の積込み高さは、ピータの上端以下とし、上面全体を平らにならしてください。



注意

堆肥を平らにならすとき、上から押さえつけないでください。堆肥を圧縮すると、散布性能が悪くなります。また、故障の原因となります。

警告

堆肥を積込むときは、PTOを切ってエンジンを停止させてから積込み作業をしてください。

◆石などは、取り除いてください。

堆肥に石や木片などの異物が混入していると、本機損傷の原因となります。積込み作業中に発見したら、必ず取り除いてください。

4 散布できない物は

◆土、砂などは散布できません。

堆肥以外に粒状肥料は散布できますが、下記の物は散布できません。

土、砂、石、砂利、ブロック類
木材類、氷、鉄屑 など

5 コンベア送り速度の設定

◆送り量を設定する時は

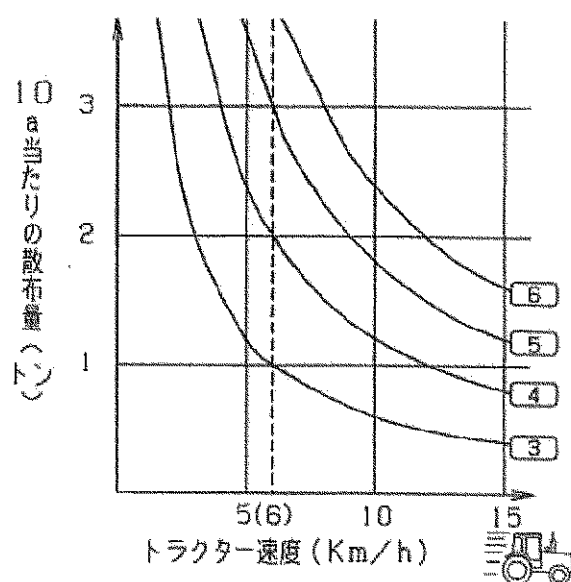
通常散布する場合は、コントロールボックスで、希望する散布量の速度に設定してください。

6 散布量とトラクタ速度について

◆散布量設定のしかた

散布量を設定する場合、次表を目安に希望する散布量により、トラクタの車速とコントロールボックスで設定してください。

表：散布量とトラクター速度（目安表）



作業方法

●散布量目安表「散布量とトラクタ速度」は本機前方の左側に貼り付けてあります。

散布量は堆肥の種類によって異なりますので、参考値としてお考えください。

《例》10a 当たり2トン散布したい場合は、目盛4でトラクタ車速6 km/h となります。

7. 散布方法について

◆作業手順

- ①ゲートを開ける
- ②エンジン回転速度を低速にして、PTOを入れ、トラクタの油圧を入れてコンベアを作動させる。
- ③堆肥がピータまで送られ、飛散したら走行クラッチを入れ、設定速度で走行してください。

注意

必ずエンジン回転速度を低速にしてからPTOクラッチを入れてください。エンジンを高速回転させ、PTOクラッチを入れるとシェアボルトがせん断します。

注意

散布作業を始めるときは、後方に人や動物のいないことを確認してください。

◆PTO回転速度

散布作業を行うときは、PTOの回転速度は500～540（最大）min⁻¹(rpm)で行ってください。

注意

●PTOとトラクタのコンベア送りの油圧を入れるときは、必ず次の順序で入れてください。

- ①ゲートを開ける
- ②PTOを入れる。
- ③トラクタのコンベア送りの油圧を入れる。

●逆に入ると、ユニバーサルジョイントのシェアボルトがせん断します。

●止めるときは上記を逆にし、トラクタの油圧を切ってからPTOを切ってください。

●コンベアを送る前に、必ずゲートを開けてください。

ゲートを閉じた状態でコンベアを送ると、ゲートが破損する場合があります。

◆通常散布を行う場合は

コンベア送り速度をコントロールボックスで、1～6の速度で行います。



注意

●通常の堆肥散布を行うときは、ゲートの下端は堆肥の上面より少し上げて使用してください。

作業方法

● ゲートを使用して堆肥を平らにならすことは絶対しないでください。

※ 本機が破損します。

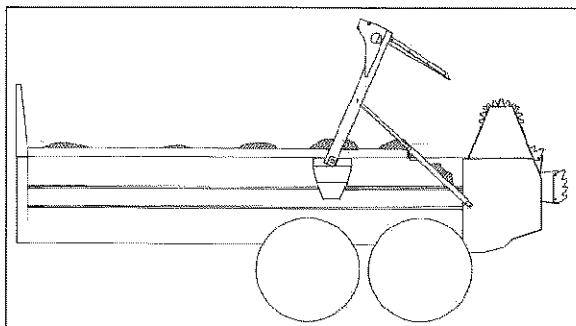
注意

コンベア送り速度 7～10 は洗車時に使用してください。

注意

作業後は緩衝材、ゲートおよびシリンダ等に堆肥が堆積している場合は、掃除して取除いてください。

そのままにしておくと、堆肥が固まりゲートが正常に作動しなくなる恐れがあります。

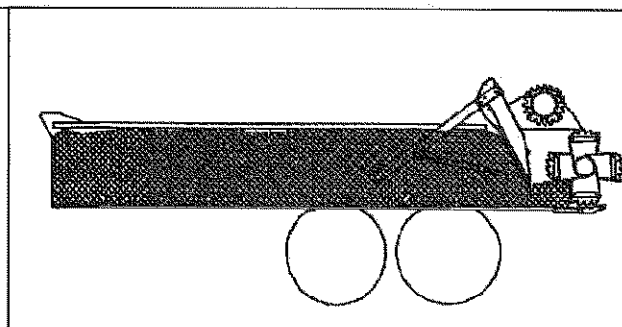


8 スラリー（ヘドロ）状堆肥の散布

スラリー（ヘドロ）状の堆肥を散布するときは、PTO を入れてピータを回転し、油圧ゲートをゆっくり上げてゲートの上げ高さで散布量を調整してください。送り速度は 1～3 程度とします。

ただし、硬い堆肥が入っているときは、油圧ゲートが曲がる場合があります。ヘドロ堆肥で流動的な場合にのみ、この散布を行ってください。

散布精度は通常の堆肥より悪くなります。



9 傾斜地での作業

◆必ず直角走行、急ハンドル禁止

等高線に対して直角走行し、旋回は速度を落とし、急ハンドルは切らないでください。

！警告

斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は横転の危険がありますので、決して行わないでください。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。作業前の点検は、欠かさず行ってください。



警告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたり危険です。
- 点検整備をするときは油圧を切り、エンジンを停止させて回転が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項目	内容	参照	チェック
1	コンベアチェーンの張り調整	200mm	23	
2	ビータ駆動チェーンの張り調整	たわみ量 10～15mm (メインビータ)、 15～25mm (サブビータ)	23	
3	ビータのヒモなどの巻き付き	ヒモ、草巻き付きを除去	—	
4	ビータハネの摩耗	交換する	—	
5	ビータハネ取付けのゆるみ	増締めをする	—	
6	ミッションオイルの給油	ギヤオイル #90 補充 (0.6 リットル)	26	
7	コンベア駆動ミッション	スーパーギヤオイル 460# (1.4 リットル)	26	
8	予備シェアボルト	不足の時は、補充	24	
9	タイヤ空気圧	不足の時は、空気補充	24	
10	タイヤハブナットのゆるみ	増締めをする	—	
11	その他各部注油、グリス	各部への給油参照	25～27	

以上について、異常が認められない場合は、P T O回転速度 500～540min⁻¹ (rpm) まで徐々に上げ、1～2分間ならし運転を行ってから作業を始めてください。

点 検 メ モ

簡単な手入れと処置

注意

チェーンは特に初期伸びをします。初めての使用から10時間後は下記に従って、張り調整を行ってください。

警告

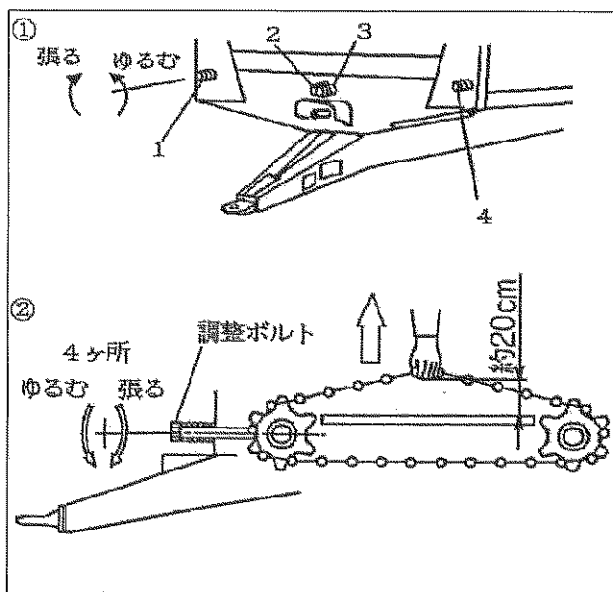
- ①チェーンの張り調整や、各部の調整をするときは、PTOを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類は、必ず取付けてください。

1. コンベアチェーンの張り調整

◆調整のしかた

コンベアチェーンが伸びた時は、次の要領で調整してください。

- ①下図に示す1～4の張り調整ボルトを右に回し、左右均一に張ってください。
- ②コンベアバーの中央部を手で持ち上げて、床面との距離を約20cmになるよう調整してください。



注意

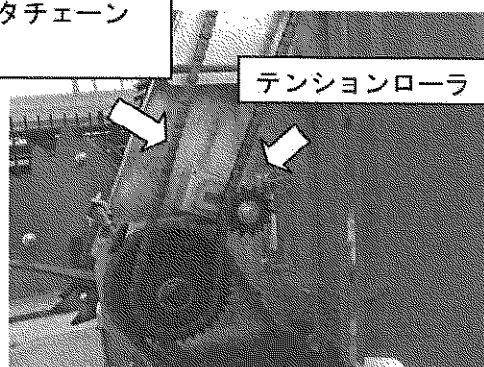
コンベアチェーンは必ず左右均一の張り調整をしてください。

2. 各駆動チェーンの張り調整

◆サブビータチェーンの調整

テンションローラを締め付けているボルトを少しゆるめ、テンションローラを押し込み、たわみ量を15～25mmに調整しボルトを締め付けてください。

サブビータチェーン
15～25mm

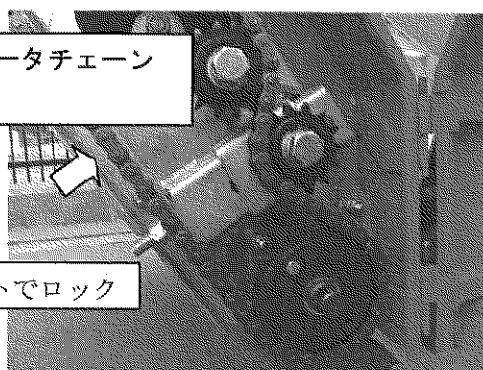


◆メインビータチェーンの調整

テンションを固定している下側のナットを少しゆるめ、上側のナットを締め上げてたわみ量を10～15mmに調整し、下側のナットでロックしてください。

メインビータチェーン
10～15mm

ナットでロック



簡単な手入れと処置

3 シェアボルトの交換

シェアボルトは本機後方、駆動軸の右側1ヵ所に組入れしております。

ピータに過負荷がかかったとき、ボルトがせん断されピータの回転が停止します。

◆シェアボルトのサイズ

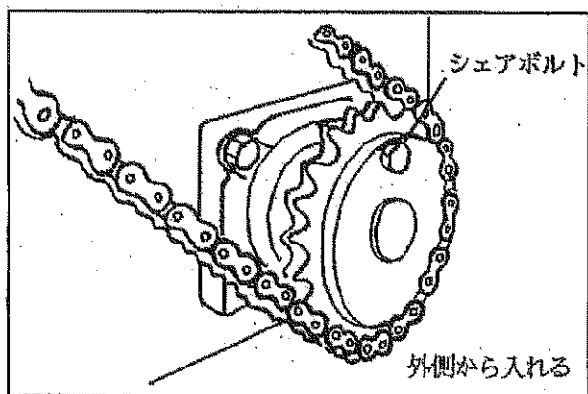
M8×35 (8T) 半ネジ 1本

注意

シェアボルトは上記指定のボルト以外は絶対に使用しないでください。

◆ボルトがせん断したら交換してください。

せん断したボルトを除去してシェアピンフランジを回転させ、取付けしやすい位置にしてボルト穴を合わせてからシェアボルトを入れ、バネザガネ・ユルミドメナットで締付けてください。



4 洗浄について

◆本機を洗浄するときは

P T Oを切りエンジンを停止させて、回転部が停止してから洗浄してください。

◆コンベア床下（裏）を洗浄するときは

①エンジンを始動し、ゲートを開け、コンベア送る。

②コンベアの床上（表）と床下（裏）を入れ換える。

③コンベアが入れ換わったら、油圧を切りエンジンを停止させて、回転部が止まってから洗浄してください。

⚠危険

点検や清掃、洗浄を行うときは、必ずP T Oを切り、エンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。

これを怠ると重大な傷害事故につながるおそれがあります。

5 タイヤの点検、修理

◆装着のタイヤと空気圧

本機のタイヤと空気圧は下記のとおりです。定期的に点検してください。

●DL7000G

11.5/85-15 8PR (チューブレス)

常用タイヤ内圧 300kPa (3.0kgf/cm²) 以下

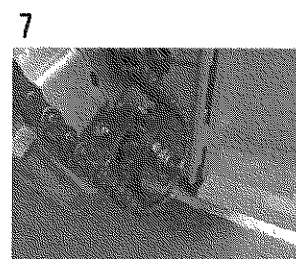
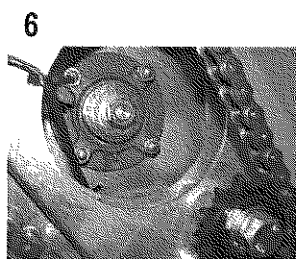
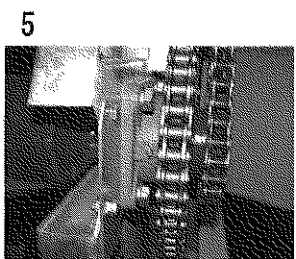
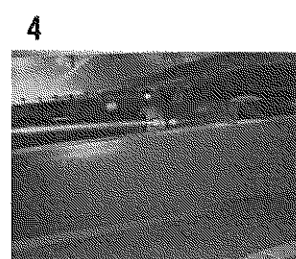
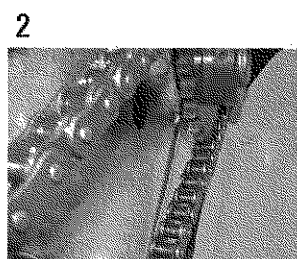
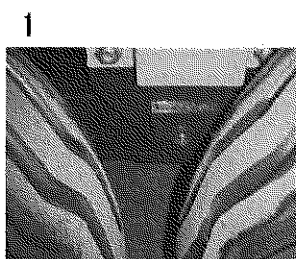
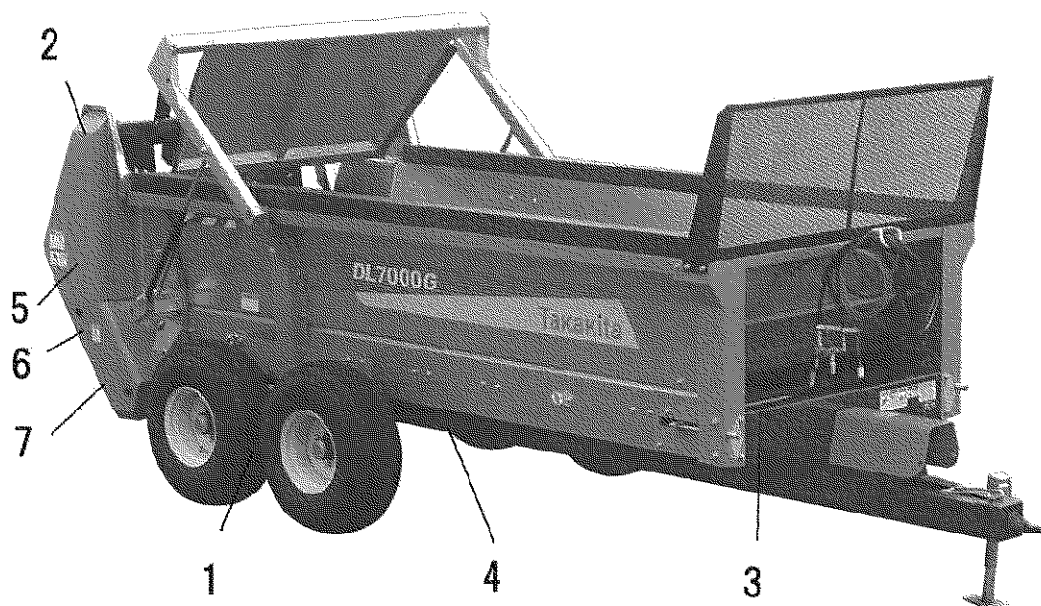
●タイヤに関する作業を行う場合は、安全な場所に本機を降ろし、必ず車輪止めをしてから行ってください。

●タイヤ及びホイールに関する修理は、十分な設備をもつタイヤショップなどの専門の所に依頼してください。

簡単な手入れと処置

6 各部の注油・グリスアップ

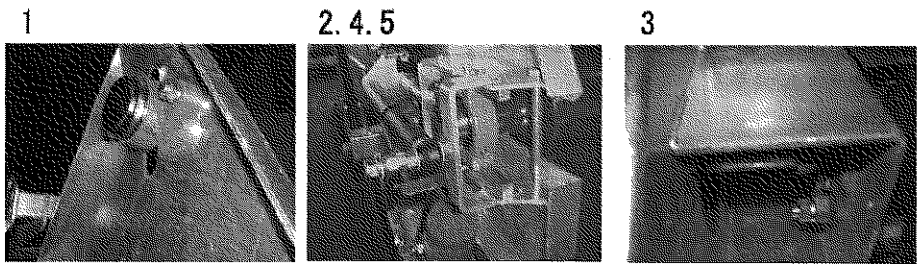
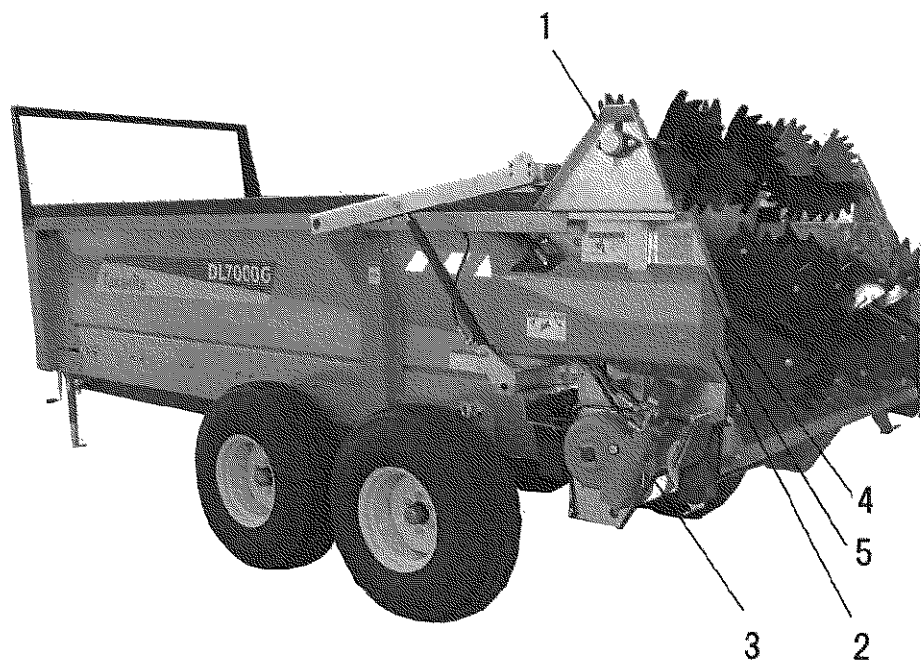
図表に従って各部にグリスアップを行ってください。



図番	場 所	グリスアップ 時間	備 考
1	タイヤとタイヤの間 (タンデムピン)	50H	
2	補助ビータ右軸受	50H	
3	床コンベア前スプロケット	50H	左右 2箇所
4	センターシャフトの中間軸受	50H	2箇所
5	メインビータ右軸受	50H	
6	コンベア駆動軸右軸受	50H	
7	センターシャフトの右軸受	50H	

簡単な手入れと処置

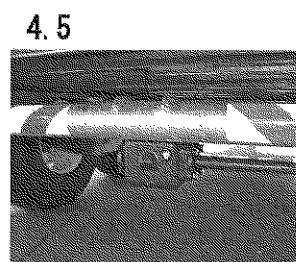
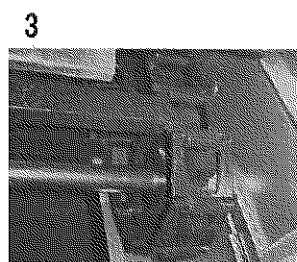
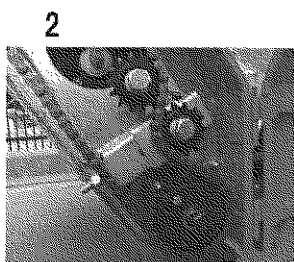
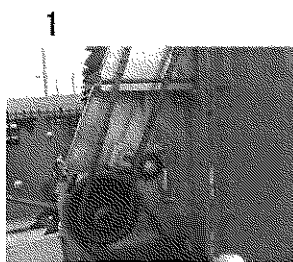
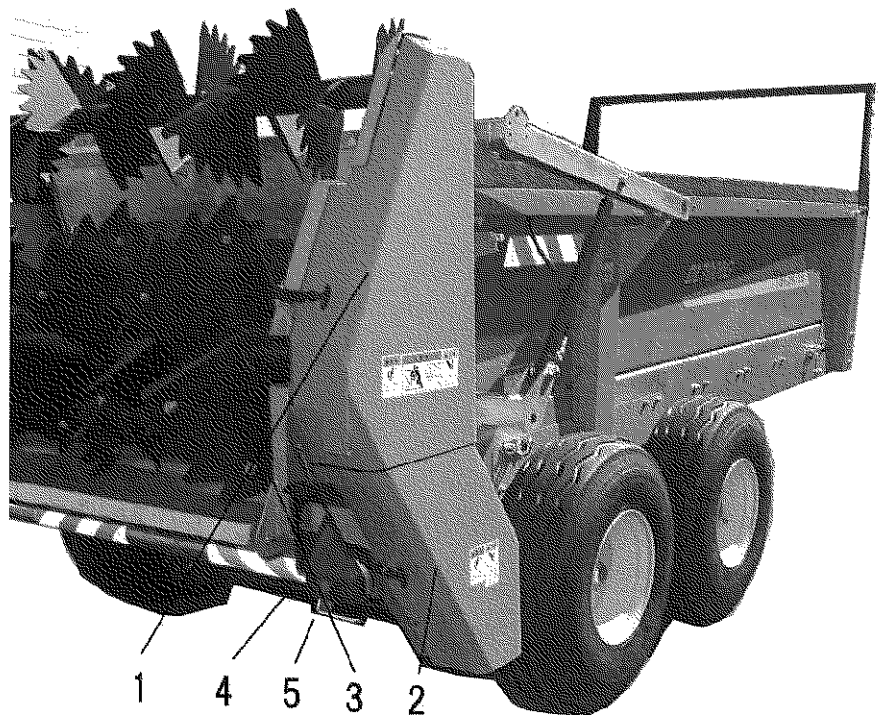
図表に従って各部にグリスアップを行ってください。



図番	場 所	グリスアップ 時間	備 考
1	補助ピータ左軸受	50H	
2	メインピータ右側スライド ベアリング	50H	
3	コンベア軸左軸受	50H	
4	スライドベアリング上	50H	
5	スライドベアリング下	50H	

簡単な手入れと処置

図表に従って各部に注油を行ってください。



図番	場所	グリスアップ 時間	備考
1	補助ピータ駆動チェーン	20H	
2	メインピータ駆動チェーン	20H	
3	コンベアチェーン	20H	長期格納時：廃油
4	センターシャフトのチェーン	20H	
5	ミッション	シーズン毎	

簡単な手入れと処置

7 長期格納時の手入れ

- 水洗いして付着した堆肥や泥などを落とし、巻き付いたヒモや草などを取り除いてください。
- 乾燥後は、回転部、摺動部やチェーン類には十分注油し、さびないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、塗料を塗ってさびないようにしてください。
- 格納するときは、雨やほこりのかからない屋内の平坦な場所で保管してください。

不調診断

不調内容	診 断	処 置	参照
コンベアが動かない	●オート装置が働いている (ビータ、ハネの摩耗など) ●コンベアがゆるんでいる ●コンベアチェーン、バーの切損 ●油圧ホースの接続が悪い ●トラクタの油圧オイル不足で所定の圧力が出ていない ●トラクタの操作が悪い	●ビータのハネを交換 ●混入した異物を除去する ●コンベアの張り調整をする ●チェーン、バーを交換する ●油圧カブラを確実に接続する ●油圧オイルを補充する ●油圧の送り方向を確認する	23 11
ビータが回転しない	●シェアボルトが切断した	●シェアボルトを交換する (M8×3.5 8 T半ネジ) ●混入した異物を除去する	24
送りが遅い	●堆肥に異物が混入している ●ビータのハネが摩耗している ●スライドベアリングの動きが悪い ●ビータ端面に堆肥が詰まっている	●異物を除去する ●新品と交換する ●サビなどを除去し、グリスアップする ●詰まった堆肥を除去する	26
散布状態が悪い (バラつく)	●ビータのハネが摩耗している ●異物が混入している	●新品と交換する ●異物を除去する	16

付表

1. 主要緒元		
品 名	マニアスプレッダ	
型 式	DL7000G	
装着方法	ドロバけん引式	
駆動方法	P T O 駆動 (回転速度 500~540min ⁻¹ (rpm))	
適用トラクタ	36.8~73.6 KW (50~100 PS)	
機 体 寸 法	全 長	5,930mm
	全 幅	2,300mm
	前 高	2,250mm
質 量	1,860kg	
散布幅	3.0m	
堆肥送り機構	0~10段 (7~10段は洗車時に使用)	
コンベアチェーン・配列	2列	
車輪配列	1軸4輪 (タンデム式)	
タイヤサイズ	11.5/80-15 8PR	
最大積載量	5,600kg	
作業速度	4~6 km/h	
作業能率	14~17 分/10a	
ボ ッ ク ス 寸 法	全 長	4,000mm
	全 幅 (最小)	1,540mm
	全 高	800mm
	JIS 荷箱容量	6.5 m ³ (ゲートなし 7.0m ³)

※この主要緒元は、改良のため予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品		
品 名	部品コード	備 考
ハネA	11717-2271-002	
シェアボルト	74102-4130-000	M8×35 8T (半ねじ) (5本セット)

3. 給油		
給油箇所	使用オイル	給油量
センターミッション	ギヤオイル #90	0.6 リットル
コンベア駆動ミッション	スーパーギヤオイル #460	1.4 リットル